

民進党 2016 年度活動方針等について

結集。国民とともに進み政治を動かす。

民進党が、真の意味での国民政党となり、政権を担うことのできる政党となるために、まずは、当面する国会活動や地域での地道な活動を通じて、私たちの結党の思いを、多くの国民の皆さんに力強く伝えていきます。その上で、4月に北海道5区と京都3区で行われる衆議院の補欠選挙、7月に予定されている参議院議員選挙、そしてダブル選挙になるとも言われている衆議院の解散総選挙、これら戦いに全力で取り組み、国民の皆さんの理解を得て、戦い抜きます。

補選、衆参選挙に英知、人材、資金を集中。

昨年、安全保障関連法制の強行をきっかけに、安倍政権の暴走に強い危機感を持ち立ち上がった皆さん～子どもを連れたお母さん、若いカップル、学生など～これまで政治に距離を置いてきた方々も含めて、多くの国民の皆さんが自らの意思で声をあげ、行動を開始しました。その怒りは、いまま全国で渦巻いています。また足元では、保育園に子どもを入所させられなかった親たちの悲痛な叫びを、蔑ろにするかのような安倍総理をはじめとする政権与党の議員たちの暴言に、再び大きな怒りが国会を取り巻いています。

民進党は、こうした国民の皆さんの怒りと危機感を受け止め、共に進んでいきます。立ち上がった幅広い国民の皆さんとともに、一連の選挙戦を戦い抜き、安倍政権の野望を打ち砕いて、政治を国民の手に取り戻します。

そのために、英知、人材、資金など、民進党のすべての力を結集します。「勝てる戦略」「勝てる候補者」「勝てる態勢」を確立し、民進党の旗印を鮮明にするマニフェストを掲げて、幅広い国民の皆さん、さまざまなグループ、野党各党との連携・協力を、最大限に追求していきます。

常に綱領を踏まえて。

私たちは、綱領において、「我が党は、『生活者』『納税者』『消費者』『働く者』の立場」に立ち「未来・次世代への責任を果たし、既得権や癒着の構造と闘う、国民とともに進む改革政党である」ことを宣言しました。

「互いに支え合い、すべての人に居場所と出番がある、強くてしなやかな」共生社会をつくることを掲げました。

政策立案や立法活動、国会や地方自治体議会での活動、各種団体や野党各党との

連携・協力をはじめとして、すべての党活動にあたって、この原点を踏まえて行動します。

そして、政治改革、男女共同参画社会実現に向けた改革、行財政改革、地域主権改革、統治機構改革、規制改革などに着実に取り組みます。

東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故から、5年が経過しました。しかし、復興は緒に就いたばかりです。民進党は、真の復興を果たすため、被災者に寄り添い、震災からの復興、福島の再生に向け一丸となって支援していきます。

地域組織の統合により強靱な基盤づくりへ。

民進党の基盤を確立し、選挙戦を戦い抜く上で、鍵を握るのは、党员・サポーターの皆さんの力と、その結集による地域組織の確立・強化です。地域における組織統一は、選挙の勝敗を決します。互いに同志として話し合い、民進党の旗のもとに団結して、さらに幅広い国民の皆さんの協力を得る。そのために、地方自治体議員の皆さん、それぞれの地域の党员の皆さんとともに、党本部も汗を流します。

民進党が、国民とともに進んでいく上で中心を担っていただける皆さんに、一人でも多く党员やサポーターとして参加いただけるよう、全力で取り組みます。

戦いは今日から始まる。

今、国会の真っ最中です。民進党は、破たんしたアベノミクスから、国民生活と国民経済を守るために全力を挙げます。安倍内閣によって安保法制が施行されますが、その廃止と現実的かつ必要な安全保障体制の整備に向けて総力を注ぎます。我が国の平和と安定を脅かす、安倍政権による憲法改悪の野望をストップします。

補選、参院選、総選挙の3つの選挙の勝利にすべてを集中します。

そのための取り組みを着実に進めるため、必要な党の機関や役員などの整備、新党としての財政統一・確立を進めます。これらについては、結党大会の名をもって、代表、幹事長へのご一任をお願いします。

民進党のポスターや機関紙などの広報宣伝物、マニフェストをはじめとする政策などについては、地域の皆さんが最大限に戦うための武器として、できるだけ早く、それぞれの地域にお届けできるよう努力します。

党規約の附則に記した大会及び代表選挙にかかわる事項、代表選挙規則、組織規則、倫理規則などについてはしかるべき機関に諮り整備を急ぎます。